

外国為替講座

～外国為替の基礎、構造の理解から、
為替リスク管理とヘッジ手法まで～

ご 対 象 者

財務部門、経理部門、経営企画部門、海外事業管理部門など関連部門のご担当者

スケジュール

（※各セッション単位でのご参加も可能です。）

セッション1 ▶ 2016年7月4日(月) 13:00～17:00

セッション2 ▶ 2016年7月5日(火) 13:00～17:00

会 場

企業研究会セミナールーム（東京：麹町）

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F TEL : 03-5215-3511

講 師

一般社団法人 実践コーポレートガバナンス研究会 顧問 林 謙二 氏

東京外国語大学ドイツ語学科卒業。日本債券信用銀行入行。その後、ドイツ銀行東京駐在員事務所副代表、ドイツ銀証券会社調査部長、引受本部長、WestLB証券会社副支店長、シグマベイスキャピタル株式会社取締役社長を経て現職。

セッション1▶外国為替講座(基礎編)

～外国為替の構造の詳細と、相場動向を読むための基本を学びます～

外国為替の仕組みについては、銀行員であっても完璧に理解している人は少なく、外為業務に従事している少数の専門家集団だけが理解する、いわゆる「ギルドの世界」となっています。

したがって、これまで海外事業を展開してきた企業においても、少数の専門家集団に任されており、企業としてどう管理すべきか、要員をどう育成するかなどの問題を抱えていることと思われます。

基礎編では、まず外国為替の仕組みを詳しく理解します。
そして外為相場の動向を理解するための基本事項を学びます。

1. 外国為替市場の構造

(1)市場の慣習を理解する

1)為替レートの表示方法

- ・相場の原則①「安く買って高く売る」に従った表示
- ・買値と売値の幅(スプレッド)を決める要因
- ・外国通貨建てと自国通貨建てを決めた歴史的要因(豪ドルが外国通貨建てで、カナダドルが自国通貨建てのわけ等々)
- ・スポットレートとフォワードレート
- ・クロスレートとスワップレート

2)銀行内の為替担当セクションはどうなっている?

- ・銀行のディーリングルームの内側
- ・スポットディーラーほか各担当者の役割

3)銀行との取引

- ・契約書:銀行取引約定書だけでは為替取引は開始できない
- ・仲値と対顧客相場
- ・手数料:外国為替手数料だけではない
ー外貨取扱手数料(リフティング・チャージ)とは?
- ・為替予約の延長が原則許されない理由

(2)為替レートの構造を理解する

1)クロス・レートを算出することから

相場の原則①を理解する

- ・自国通貨建ての例(スイスフランの対円レート)
- ・他国通貨建ての例(ポンドの対円レート)

2)為替と金利の関係

- ・金利裁定:フォワードレートは金利差で決まる。
- ・ディスカウントとプレミアムとは?
- ・フォワードレートは
スポットレート+スワップレート
- ・先達の知恵:スワップレート表から分かること
- ・スワップレートの理論値
- ・金利差が輸入予約と輸出予約に与える影響
- ・相場の原則②「少なく払って多く取る」に従ったスワップレートの表示
ーこれを理解すれば為替の構造については万全!
- ・社内レートの位置付け
- ・為替のスワップを使ったドル調達

2. 為替相場を理解するための基本

(1)外為法と経済の基本を理解する

1)1998年のビッグバンで

- ・欧米に追い付いた自由化度
- ・外為法改正の内容
- ・OTCデリバティブの解禁

2)為替相場を理解するための基本事項

- ・GDPの意味すること
- ・経常収支と為替相場
- ・インフレ率と為替相場
- ・雇用統計の見方

(2)相場決定理論を理解する

1)相場決定理論

- ・国際収支説
- ・購買力平価説
- ・為替心理説
- ・アセット・アプローチ
ーポートフォリオ・バランス・アプローチ
ーマネタリー・アプローチ
- ・規制緩和の歴史と相場主導要因の変化

セッション2▶外国為替講座(中級編)

～為替リスク管理とヘッジ手法～

少子高齢化により国内市場の縮小が懸念され、内需に守られてきた企業も、輸出拡大や海外進出により、いよいよ海外業務を拡大する必要性に迫られています。

その際、為替リスク管理とリスクヘッジをどのように行うかが重要になります。

また、そうした意識を海外要員を含め、社員にどのように教育していくべきか、今から準備しておく必要があります。

中級編では、こうしたリスク管理や通貨オプションなどのヘッジ手法に加え、そのために必要な基本知識である為替相場の変動予測について学びます。

1. 為替相場の変動予測

(1)為替相場の予測の立て方

1)各国の予測を立てるための準備

- ・相場決定理論を使った分析
- ・貿易相手国・投資先国の分析の基礎
- ・景気動向指数採用系列
- ・特殊要因による相場変動
- ・投資対象に選ばれる通貨

2)世界情勢を俯瞰し、現状を把握する

- ・グローバリゼーション後の世界を
因果関係図で読み解く

(2)日本経済の構造問題と為替相場

1)日本のゆくえんのゆくえ

- ・ダブルA格からシングルA格への日本国債の格下げは止められなかった
- ・アベノミクスがもたらした時間的余裕
- ・経常収支の今後
- ・政府債務残高の今後
- ・成長率が恒常的にマイナス化
- ・日本が抱える最大の問題点

2. 企業における為替変動のリスクヘッジ

(1)企業の為替リスク管理

- #### 1)通貨関連リスクの種類
- ・企業にみるリスク
 - ・為替取引にみるリスク

2)リスクの把握

3)リスクの管理体制

4)為替リスクの管理戦略

(2)ヘッジ手法

1)ヘッジルール決定

2)ヘッジ手法

- ・為替予約
- ・クロス・ヘッジ手法
- ・通貨オプション
- ・金融市場ヘッジ
- ・通貨先物

3)通貨オプションの使い方

4)ヘッジ手法の分散・多様化

- ・手段の組み合わせ
- ・時間差の組み合わせ
- ・包括ヘッジの利用
- ・リース・アンド・ラッグス

5)ヘッジ実績の報告と検証



参加要項

本セミナーは各セッション単位の選択申し込みが可能です。
複数のセッションをご受講の際は、下記の通り割引料金となります。お申し込みの際には、申込書のご受講を希望されるセッション開催日に、チェックをご記入下さい。

受講料
(1名…消費税込)

◆1日のみ受講……………	正会員 / 34,560 円 (本体価格: 32,000円)
	— 一般 / 37,800 円 (本体価格: 35,000円)
◆両日受講……………	正会員 / 45,360 円 (本体価格: 42,000円)
	— 一般 / 48,600 円 (本体価格: 45,000円)

※会員企業一覧は当会ホームページにてご確認頂けます。 <https://www.bri.or.jp>

※主担当者様のお名前でお申し込みの上、各回、代理出席も可能です。但し、割引料金の適用は一度にお申し込みの場合に限ります。

申込方法

下記申込書に所定事項、及び、ご受講希望セッションをご記入の上、FAXにてお送りいただくか、下記担当者宛 Eメールにてご連絡下さい。また、当会ホームページからもお申し込み頂けます。(Eメールでお申し込みの際には、希望セッションを明記願います。)

お申し込み・お問い合わせ先

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

TEL : 03-5215-3514 FAX : 03-5215-0951 E-mail : kawamorita@bri.or.jp

一般社団法人企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当：川守田 (かわもりた)

※着信確認のご連絡後、後日 (開催日一週間～10日前まで) に受講票・請求書をお送りします。

※よくあるご質問 (FAQ) は当会ホームページにてご確認いただけます。([TOP] → [公開セミナー] → [よくある質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受けしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理の方のご出席をお願い致します。

※最小催行人数に満たない場合、中止とさせていただきますので、ご了承ください。

申込書

FAX:03-5215-0951

事業コード:161299-0606

外国為替講座

会社名	会社所在地 〒 -	
氏名(フリガナ)	所属・役職名	Tel
		Fax
E-mail		
受講希望セッション (必ず✓をご記入下さい)		
選択受講 / <input type="checkbox"/> : セッション1 ▶ 7/4(月) <input type="checkbox"/> : セッション2 ▶ 7/5(火)		
備考		

ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する確認、連絡、及び、当会主催セミナー等のご案内に利用させていただきます。